

第1回 地域社会・多文化委員会研修会

【テーマ：依存症への支援を考える】

アルコールや薬物、ギャンブルなどを“一度始めると自分の意思ではやめられない”、“毎回やめようと思っているのに、気が付けばやり続けてしまう。

依存症は一般的なイメージでは、“本人の心が弱いから” 依存症になったんだと思われがちです。

また依存症は、「孤独の病気」とも言われています。「学校や職場、家庭などとうまくなじめない」といった孤独感や、「自分に自信が持てない」などの不安や焦りから依存症が始まる場合もあります。

さらに「自ら問題を認めない」ため、本人が病気と認識することは困難です。一方家族は、暴力やギャンブルによる借金の尻ぬぐいなどに翻弄され、本人以上に疲弊するケースが多くみられます。家族や友人など周りの人が、依存症について正しい知識と理解を持つことが、回復につながる大事な一歩です。

この度は、ご家族の立場から現状等を報告いただきます。

2022年 6月19日（日） 14：00～15：30

13時30分から入室受付開始

申し込み
締め切り

6/12（日）

参加者：鳥取県社会福祉士会会員、入会手続き中の方

参加費：無料

『家族の立場から』

講師：木田 亜紀子 氏

（全国ギャンブル依存症家族の会鳥取）

全国ギャンブル依存症家族の会鳥取

ギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知ってもらうとともに家族ならではのサポートをしています。

米子：毎月1回

倉吉：奇数月に

家族会を開催しています。

申し込み：一般社団法人鳥取県社会福祉士会ホームページ

<https://www.csw-tottori.jp/> 「研修申し込みフォーム」から申し込みください。

ミーティングID・パスワードは、6月15日（水）15時を目安に連絡先メールアドレスに送信します。